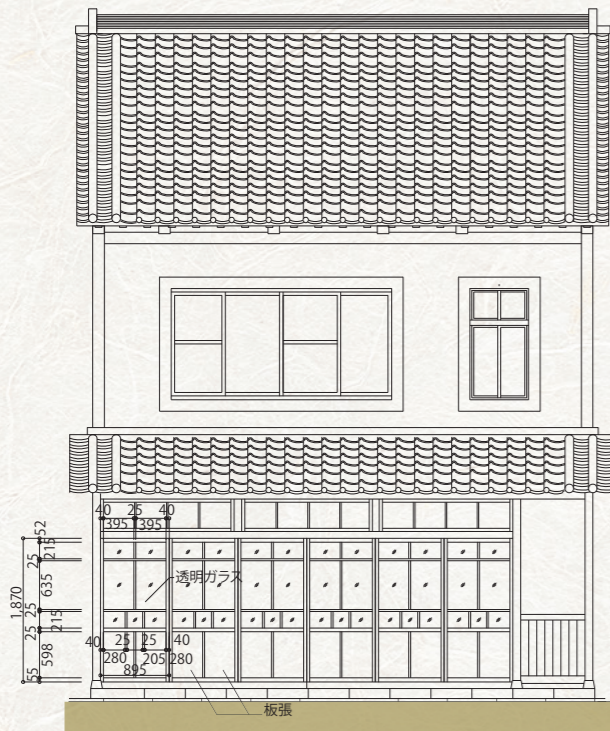
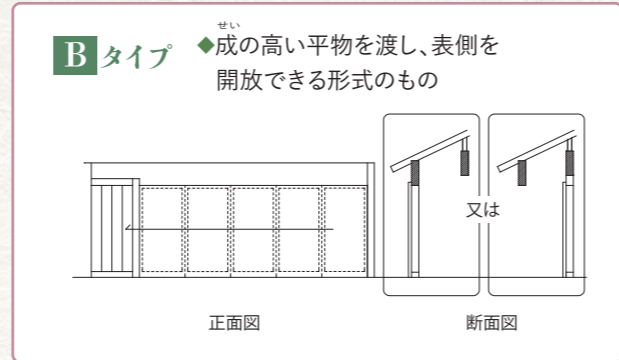


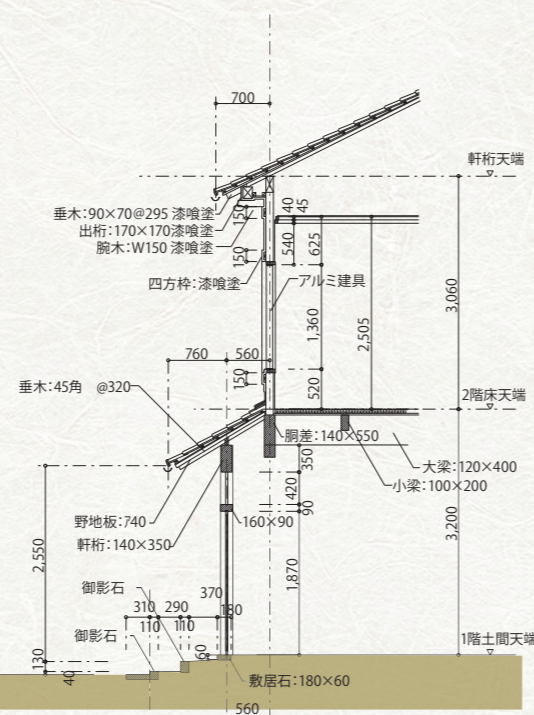
# 【具体的な建築例】

## 三木家(上川原) Bタイプ

- ◆当住宅は、昭和9(1934)年に建てられた間口3間半の町家で、元は金物屋を営んでいました。龍野地区の2階建としては、最大級の軒高であり、1階、2階とも建ちが高くなっています。昭和に入ると、このような高さの町家が建てられるようになりました。
- ◆1階は、全面が開放でき、戸袋に建具が納められるようになったBタイプで、鴨居かもいの上にガラス窓を設け、明かり取りにしています。
- ◆1階開口部は、「お多福窓」と呼ばれるガラス窓を意識したデザインとなっています。



立面図

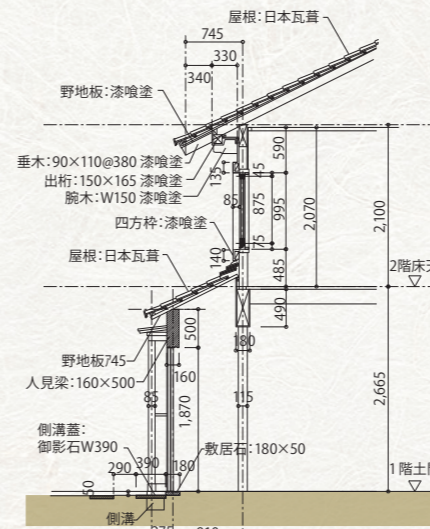


断面図

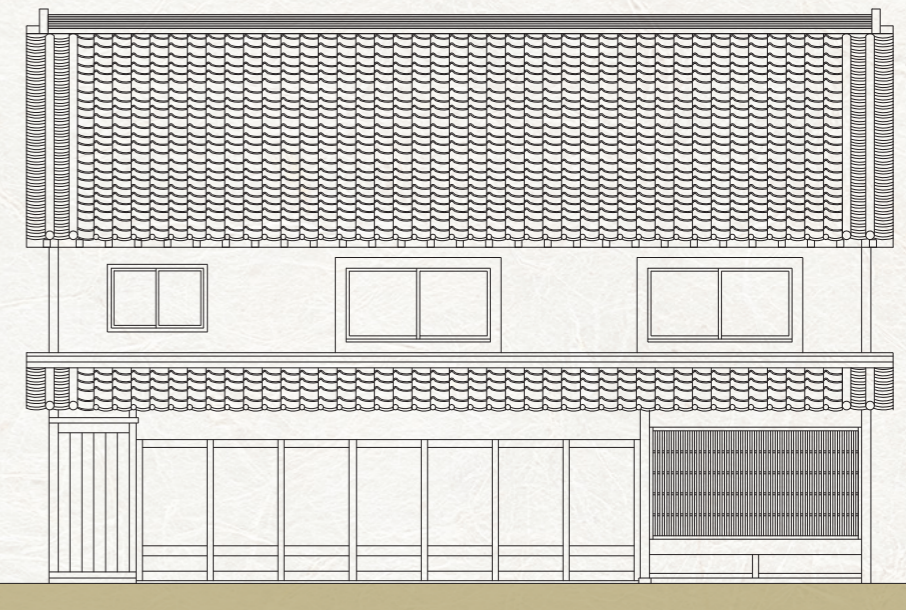
◆縮尺1:100

## 集鳳堂(立町) Bタイプ

- ◆当住宅は、残されている資料によれば、明治41(1908)年に建てられたことが分かります。
- ◆当時のままの姿をよく残している貴重な町家で、全面を開放できるタイプの典型です。
- ◆下手(向かって左手側)に戸袋があり、たくさんの戸を納められるようになっており、元の板戸が内側に残っています。
- ◆1階上部には、人見梁ひとみばりという大きな梁を間口いっぱいひらごうしに渡してあり、龍野地区にはこのような梁が多く見られます。上手(向かって右手側)に格子があり、平格子ひらごうしとなっています。

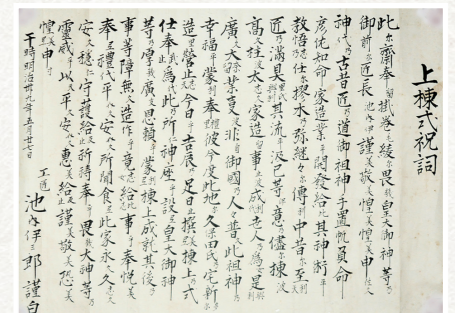


断面図



立面図

◆縮尺1:100



上棟式の祝詞